

製造業安全対策官民協議会

神戸宣言の取組結果と今後の取組について

取りまとめ会合
2023年3月10日
(一社)日本アルミニウム協会

1. 神戸宣言に対するアルミニウム業界の取組み

4つの経営理念

- 一、経営のリーダーシップと体制強化
 - 二、安全投資の促進
 - 三、安全人材の育成と安全教育の拡充
 - 四、重点課題への取組みと成果共有
- ・ 会員各社にて安全活動計画に織込
 - ・ 当協会安全委員会の活動を通じてその成果と会員各社の取組の成果を共有

製造業安全対策官民協議会・神戸宣言

製造業における安全対策の更なる強化を図ることを目的に本年3月に設立された「製造業安全対策官民協議会」は、産業安全を取り巻く環境の変化や対応の方向性を踏まえ、次の5つの事項について具体的な検討を行ってきた。

- 一 異業種トップ座談会の実現
- 二 安全管理体制強化のため労働安全衛生マネジメントシステムのJIS策定への関与
- 三 安全投資促進のため、リスクアセスメントの標準手法の開発、及び設備点検・補修・更新基準の共通化
- 四 安全対策の経済効果と、社会的評価
- 五 産業界における安全教育の体系的プログラムの策定

また、本年9月に開催された「製造業安全対策に関するトップ会議」では、「一人ひとりカケガエノナイひと」という人間尊重の基本理念のもと、以下の4つの経営理念を含む「声明文」を公表した。

- 一、経営層がリーダーシップを発揮しつつ、安全担当や製造担当と接触し、かつ、常に現場の声を反映できるような体制の強化
- 二、設備の老朽化等の厳しい現状がある一方、技術革新を生かした新たな取組も進んでいることを踏まえた、安全への投資の促進
- 三、ベテラン職員の減少、業務アウトソーシングの増加などの環境変化を踏まえた、階層別、協力会社を含めた安全人材の育成や安全教育の拡充
- 四、重点的に取り組むべき課題を抽出し、その原因・対策などを検討し、検討結果を業界内外に共有

協議会は、トップ会議で公表された4つの経営理念について合意する。協議会の構成員はそれを会員企業に周知し、経営理念が達成され、更なる安全対策の強化が図られる取組を推進するとともに、その結果を集約する。

トップ会議に参加した3団体（日本鉄鋼連盟、日本化学工業協会、日本製紙連合会）及び賛同する団体は、「4つの経営理念」に沿って取組の計画を策定し、翌年の協議会及び次回全国産業安全衛生大会において取組の進捗状況を報告する。

また、所属団体が協議会の構成員でない場合でも、これらの趣旨に賛同した企業が、自ら計画を公表し実施状況を協議会に報告することも可能とする。

協議会の構成員は、製造業における更なる安全対策の強化が図られるよう、これらの取組みを全者一丸となって推進することをここに誓う。

2. 安全委員会活動

- 一、経営のリーダーシップと体制強化
- 二、安全投資の促進
- 三、安全人材の育成と安全教育の拡充
- 四、重点課題への取り組みと成果共有

本部委員会（4回/年 12事業所）

委員長〈輪番/経営層〉 ← 官民協議会構成員

関東地区委員会

（同 11事業所）

関西地区委員会



（同 9事業所）

北陸中部地区委員会

（同 14事業所）



2. 安全委員会活動

11-4 その他				災害区分	休業	不休業
エアーコンプレッサーモーター据付作業で指をはさまれる						
発生場所	エアーコンプレッサー室			事故の型	はさまれ、巻き込まれ	
発生年月	2020年11月	年齢	24才	負傷部位	左手第2指挫創	
		経験	2年			
<p>【状況】</p> <p>朝から3名でエアーコンプレッサーモーターO/H後の組立時にモーターとコンプレッサーを繋ぐカップリングを、リーマーボルトで固定させる作業を開始した。被災者がボルト穴を確認すると回転方向に約1mmのズレがあり、モーター側のシャフトをチェーンレンチを使って1mm移動させる事とした。被災者は右手でチェーンレンチを上側に引き左手はズレを確認する為ボルト穴に左手人差指を入れて確認し、右手のレンチをほんの少しだけ動かすつもりで回したところ本人が思っていたよりも多く回転し、指をはさんだ。</p>						
【災害発生状況】			【対策後】			
【略図】						
<p>【原因】</p> <p><人></p> <p>1. 指を回転部に安易に入れてしまった。</p> <p><設備></p> <p>1. カップリングのリーマーボルト穴の位置合わせ難かった。</p> <p>2. 一方向しか回せないチェーンレンチを使用した。</p> <p><管理></p> <p>1. 作業標準書が無く、オーバーホールは10年周期の為、作業リーターも経験が薄く、作業手順を思い出しながらの作業であった。</p>			<p>【対策】</p> <p><人></p> <p>1. 大小含めてカップリングの穴には指を入れない事の教育を繰返し教育として計画を立て実施する。</p> <p><設備></p> <p>1. リーマーボルト穴に寸法を合わせた砲金製ボール芯を使用する。</p> <p>2. この作業でのチェーンレンチの使用禁止し、カップリングを正逆転できる治具を作製した。</p> <p><管理></p> <p>1. 作業標準書を作成し教育を実施した。</p>			

- 一、経営のリーダーシップと体制強化
- 二、安全投資の促進
- 三、安全人材の育成と安全教育の拡充
- 四、重点課題への取り組みと成果共有

「労働災害報告書」

委員会所属事業所より所定の書式にて発生
 随時協会事務局あてに送付され、委員会で
 状況・原因・対策が報告された後、出席全
 委員にて質疑応答・再発防止の助言・類例
 の注意喚起等を行う。

2. 安全委員会活動



- 一、経営のリーダーシップと体制強化
- 二、安全投資の促進
- 三、安全人材の育成と安全教育の拡充
- 四、重点課題への取り組みと成果共有

「労働災害事例集（A4版）」

労働災害報告書を半年単位でまとめ、業界（協会々員事業所＋α）の災害統計資料（半期・通期）を加えて製本・頒布。

2. 安全委員会活動

会員専用ページ 労働災害事例集 検索

A.~H.で選択または入力された項目すべてに該当する事例を検索します。
A~Hの条件で指定の無い場合は、すべてを対象として検索します。 →[検索方法の説明](#)

A.機械別分類：(複数チェック可能)
小分類を選択して絞り込みます。

1. 溶解・鋳造 すべて 2. 圧延 すべて 3. 押出 すべて 4. 箔加工 すべて 5. プレス・表面処理 すべて 6. サッシ加工・一般機械 すべて 7. 荷役・運搬 すべて 8. 爆発・火災 すべて 9. 電気 すべて 10. はしご・階段・通路 すべて 11. その他 すべて

B.事故の型：(複数チェック可能)

<input type="checkbox"/> 1. 墜落・転落	<input type="checkbox"/> 11. 高温・低温の物との接触
<input type="checkbox"/> 2. 転倒	<input type="checkbox"/> 12. 有害物等との接触
<input type="checkbox"/> 3. 激突	<input type="checkbox"/> 13. 感電
<input type="checkbox"/> 4. 飛来・落下	<input type="checkbox"/> 14. 爆発
<input type="checkbox"/> 5. 崩壊・倒壊	<input type="checkbox"/> 15. 破裂
<input type="checkbox"/> 6. 激突され	<input type="checkbox"/> 16. 火災
<input type="checkbox"/> 7. はさまれ・巻き込まれ	<input type="checkbox"/> 17. 交通事故(道路)
<input type="checkbox"/> 8. 切れ・こすれ	<input type="checkbox"/> 18. 交通事故(その他)
<input type="checkbox"/> 9. 踏み抜き	<input type="checkbox"/> 19. 動作の反動・無理な
<input type="checkbox"/> 10. おぼれ	<input type="checkbox"/> 20. その他

C.負傷部位：(複数チェック可能)

頭 顔 眼 目 頸 胸 腹 背 腰
 膊 手 指 腿 足 趾

D.フリーキーワード： Cor/*and

E.年齢： すべて

F.経験： すべて (注意：1989年以前のデータには利用)

G.負傷の程度： 不休業*、 休業*、 死亡 (複数チェック可能) (*：1998年以前のデータには利用できません。)

H.発生年月：(西暦4桁) 年 月～ 年 月 (半角数字で入力してください。)

[HOME](#) | [会員専用ページ](#) | [災害事例集メニューへ](#) | [労働災害統計へ](#)

- 一、経営のリーダーシップと体制強化
- 二、安全投資の促進
- 三、安全人材の育成と安全教育の拡充
- 四、重点課題への取り組みと成果共有

「労働災害事例検索システム (会員HP)」

1977年以降の労働災害報告書(約2800件)を登録しており、アルミニウム業界内の他社事例を参照して **再発防止・対策等** に役立てるシステム。

2. 安全委員会活動

第102回 管理監督者体験交流会

2022年6月24日(金)

10:30~16:30

リモート開催

参加134名 (21社 36事業所)



- 一、経営のリーダーシップと体制強化
- 二、安全投資の促進
- 三、安全人材の育成と安全教育の拡充
- 四、重点課題への取り組みと成果共有



- ・ 体験発表 4 事業所
- ・ グループ別討論
4 テーマ9 グループ
- ・ 講演 東京工業大学
特任教授 中村昌允 先生

「安全管理の基本とヒューマンエラーの防止」



2. 安全委員会活動

第1回 危険体感安全教育 情報交換会

2022年4月13日(水)

14:00~16:00

リモート開催

参加101名 (15社 32事業所)

テーマ

「はさまれ・巻き込まれ」

危険体感教育設備導入済の
4事業所から**動画**を用いて
事例発表



終了後 **質疑応答・情報交換**



- 一、経営のリーダーシップと体制強化
- 二、安全投資の促進
- 三、安全人材の育成と安全教育の拡充
- 四、重点課題への取り組みと成果共有

3. 安全表彰

令和3年度労働安全優良事業場を表彰 ハイブリッド(初)

- ・ 特別優良賞 20社20事業場 ・ 優良賞 7社7事業場

表彰式：2022年5月24日(火) 於)東京プリンスH

- 一、経営のリーダーシップと体制強化
- 二、安全投資の促進
- 三、安全人材の育成と安全教育の拡充
- 四、重点課題への取り組みと成果共有



4. 公的活動・顕彰 等

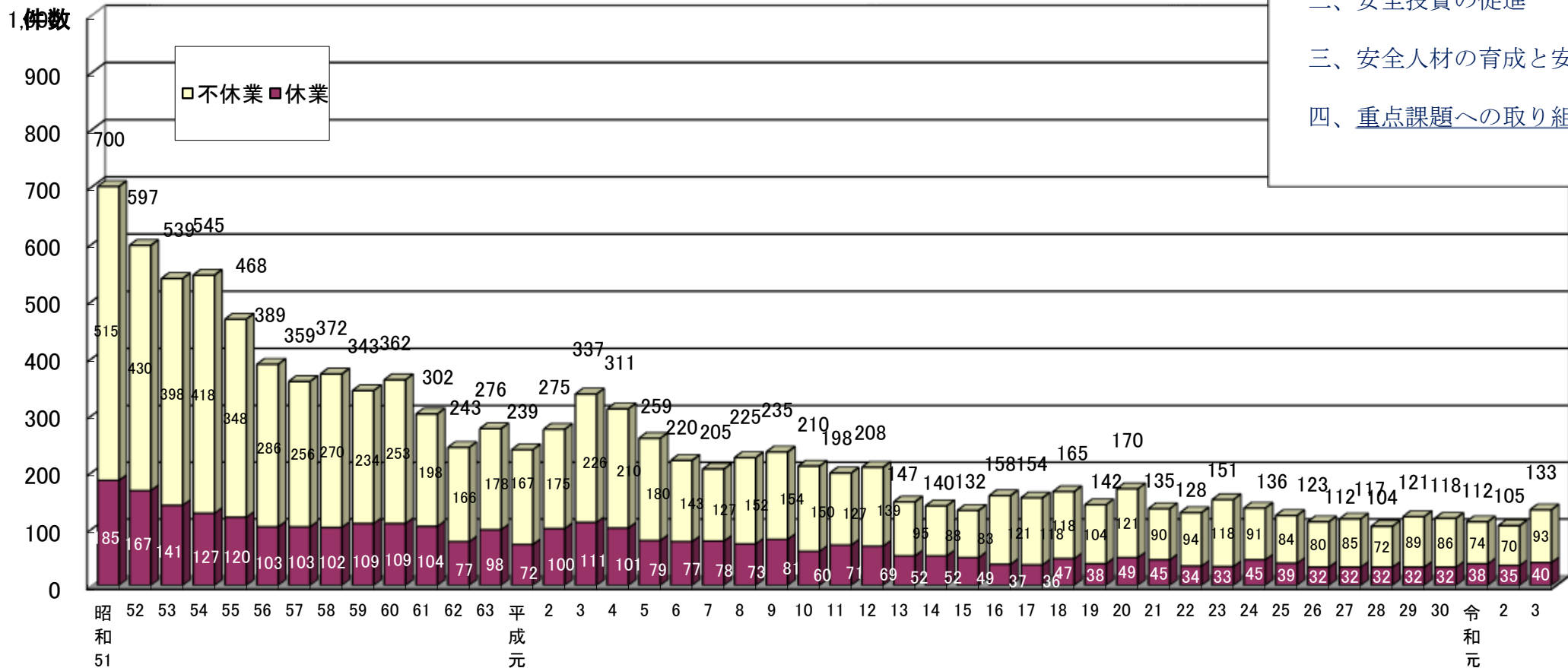
全国産業安全衛生大会 (中央労働災害防止協会)

事例発表：各回 1 事業所

「 緑十字賞 」 推薦 (同)

安全優良職長 推薦 (厚生労働大臣顕彰)

5. 労働災害統計



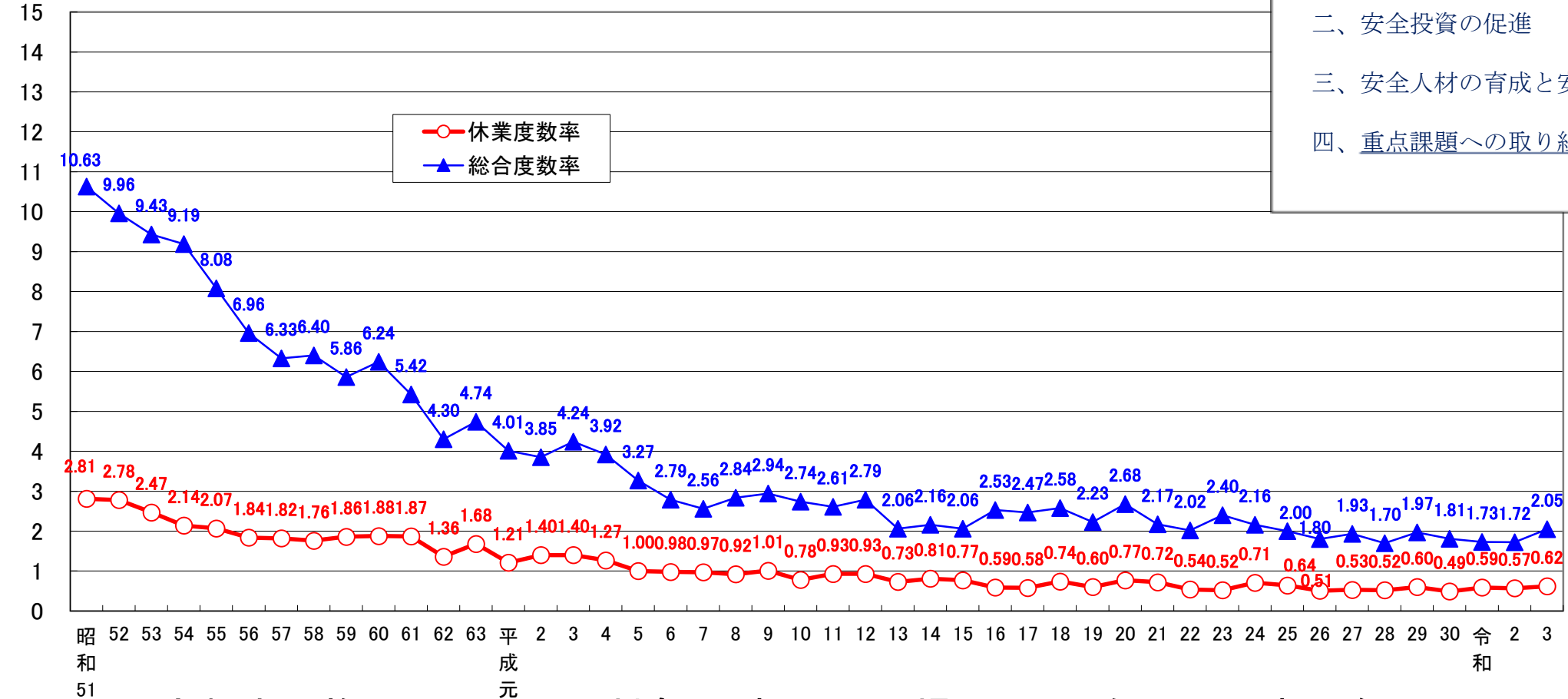
- 一、経営のリーダーシップと体制強化
- 二、安全投資の促進
- 三、安全人材の育成と安全教育の拡充
- 四、重点課題への取り組みと成果共有

発生件数の推移

対象 47社 120工場 33,733名 (12月末現在)

5. 労働災害統計

度数率



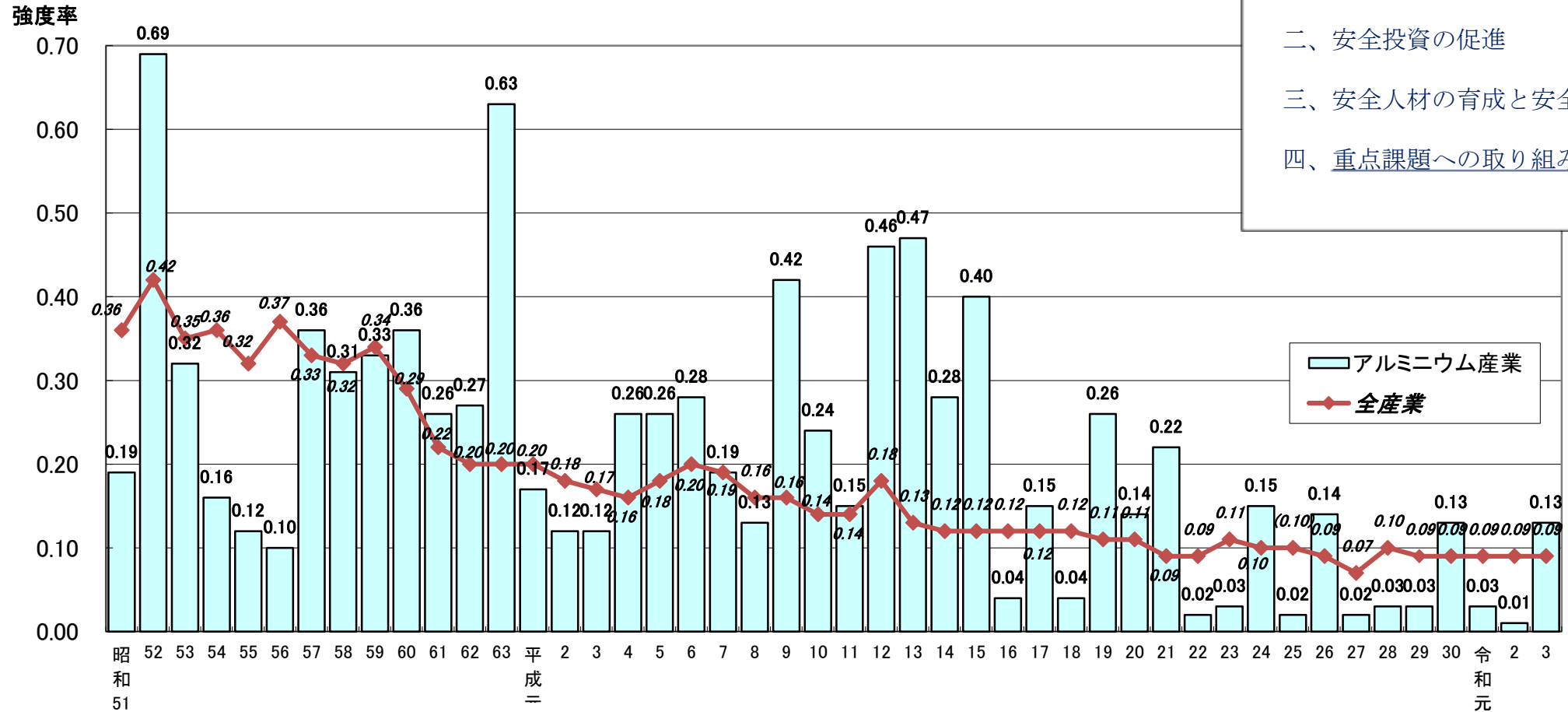
- 一、経営のリーダーシップと体制強化
- 二、安全投資の促進
- 三、安全人材の育成と安全教育の拡充
- 四、重点課題への取り組みと成果共有

度数率の推移

対象 47社 120工場 33,733名 (12月末現在)

5. 労働災害統計

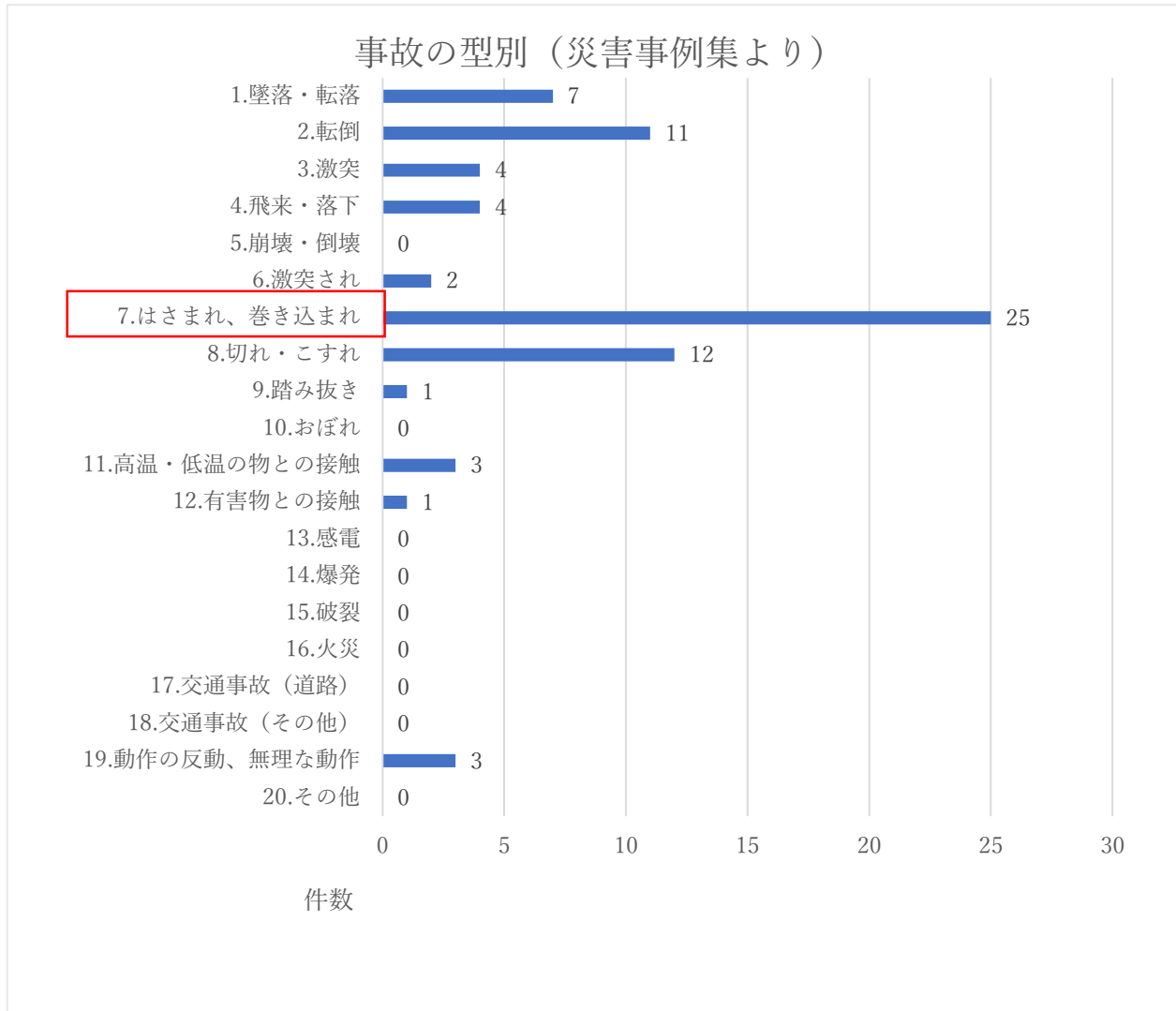
- 一、経営のリーダーシップと体制強化
- 二、安全投資の促進
- 三、安全人材の育成と安全教育の拡充
- 四、重点課題への取り組みと成果共有



強度率の推移

対象 47社 120工場 33,733名 (12月末現在)

5. 労働災害統計（分析）



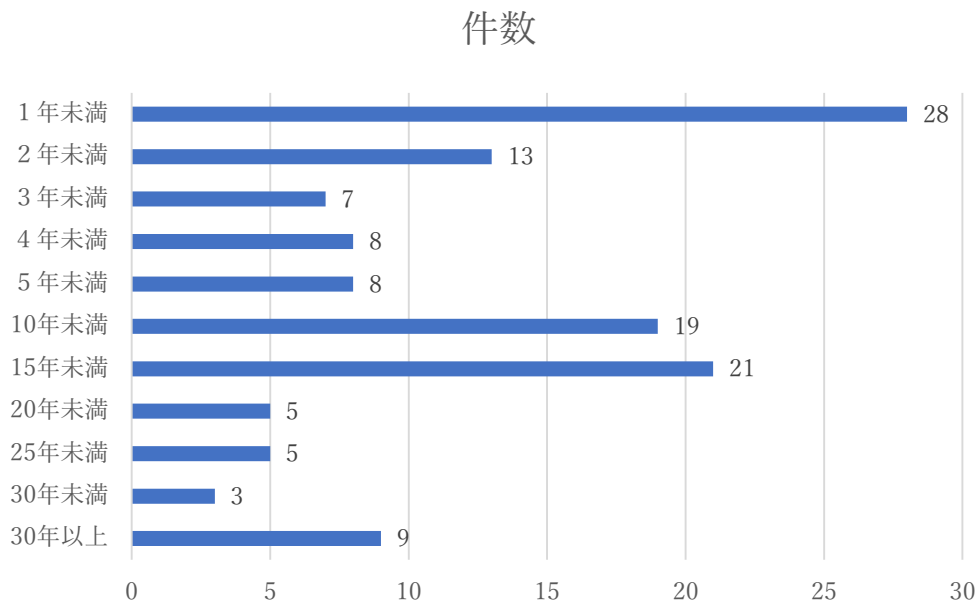
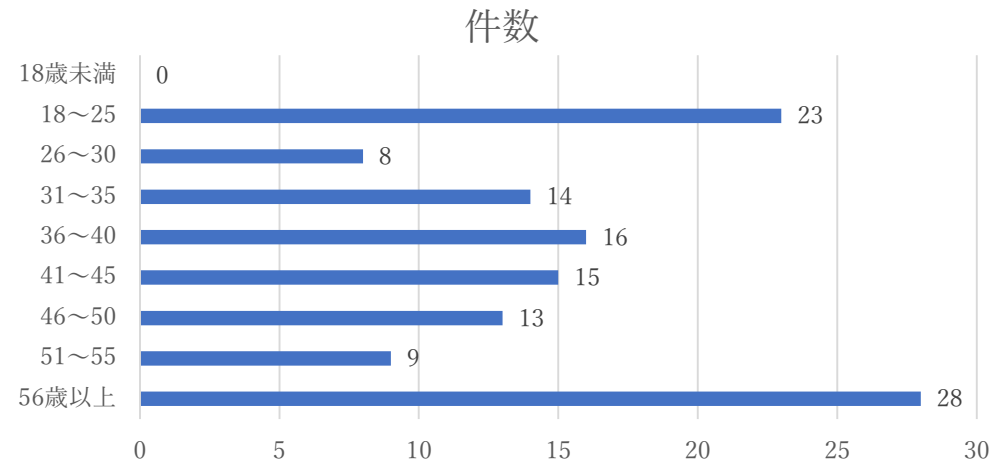
- 一、経営のリーダーシップと体制強化
- 二、安全投資の促進
- 三、安全人材の育成と安全教育の拡充
- 四、重点課題への取り組みと成果共有

事故の型別

労働災害統計の内、災害報告書により報告された事例の統計であり母数が少ないが（N=73）、

「はさまれ、巻き込まれ」が 34% を占め従来通り圧倒的に多く、以下「切れ・こすれ」16% 「転倒」15% 「墜落・転落」10%と続く。

5. 労働災害統計（分析）



- 一、経営のリーダーシップと体制強化
- 二、安全投資の促進
- 三、安全人材の育成と安全教育の拡充
- 四、重点課題への取り組みと成果共有

年齢別 では**56歳以上**が多く（22%）、次に**18～25歳**（18%）が多いが、全ての年代で例外なく発生している。

経験年数別 では**1年未満**が22%を占め、**2年未満**まで含めると**33%**を占める。また、5年以上15年未満 も32%であり多い。

5. 今後の取組

現在の活動を継続し、

- ・ 工場見学会
- ・ 異業種交流会

の再開を図りたい。

また、

- ・ 安全委員会活動参加事業所の更なる拡大

に取り組む所存です。

一、経営のリーダーシップと体制強化

二、安全投資の促進

三、安全人材の育成と安全教育の拡充

四、重点課題への取り組みと成果共有

以 上